

令和8年度 学校保健・安全指導（案）

令和7年4月
保健主事

テーマ 「生涯を支える心と体づくり」

保健指導・保健管理の重点

1. 学級活動における保健指導において、積極的に健康を保持増進できる態度や習慣を身につけさせる。
2. 毎日の健康観察を通して、自己管理ができるとともに友達の健康にも関心を持たせ、思いやりを育てる。
3. 健康診断等を実施した結果、異常のある場合は、校医の指導を受け、事後措置を適切に行う。
4. 健康（教育）相談を実施し、身体及び精神衛生について個別指導を徹底する。
5. 学校保健委員会を活性化し、家庭・地域ぐるみで生徒の健康保持増進に努める。
（アンケートの実施・一般生徒の傍聴）
6. 生徒会保健委員会の自主的活動の活性化を図る。
7. 健康な生活づくりに努める。（心身の調和、基本的生活習慣の確立、健康に望ましい環境づくり、健全な意思・安全な行動。日常生活におけるけがの防止）
（学校保健委員会の意見を生かす。素敵な掲示。花）
8. 心の健康づくりに努める。
（心を発散させる活動、一人一人の居場所づくり、欠席の原因の把握）
（クレペリン、hyper-QU等の活用）
9. 社会変化に伴い、精神衛生及び性の指導の徹底を図る。
（学校保健委員会）
10. 学校における感染症、食中毒の予防に努める。
（感染症の予防及び拡散防止）
11. 学校環境衛生検査を行い、常に問題点を把握し改善に努める。

安全指導・安全管理の重点

1. 各教科、道徳、総合的な学習の時間における学習、特別活動において、安全指導を強調し、態度化を図る。
2. 学級活動、学校行事等の活動を通し、交通安全・災害安全・生活安全についての全校的な安全意識の高揚と環境づくりに努める。
3. 施設・設備等の安全点検や整備、危険物や潜在的な危険の除去に留意し、学校安全の確保を図る。（主体管理、生活管理、環境管理）
4. 危機に対する認識を深め、規律と統制のとれた機敏な行動を身につけさせる。
（避難訓練）